

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮八幡中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 知識・技能の習得状況の個人差が大きい。また、教科によっての定着度や、学習への意欲の差も偏っている。 <指導上の課題> 授業では、支援を要する生徒が多い。また、継続的に家庭学習に取り組むことが十分にできていない。	⇒ テスト前の学習相談日の日数を1日間から2日間に変更。また、「数学デー」と称し、数学を中心とした知識・技能の内容に取り組む日を設定することで、基礎学力の定着を図る。【単元ごとに実施】 「朝サプ」と称し、朝読書の時間を活用し、教科担当が設定した「スタディサプリ」に取り組む時間を設定し、自分で単元を選択して学習に取り組めるように設定する。【2週に1回程度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現することに苦手意識を持っている生徒が多い。また、表現力にも課題が見られる。 <指導上の課題> 生徒が主体となって授業が展開される時間が、教科によって差が生じている。	⇒ 「学習の基礎となる「学びの種」を育てよう」とテーマを設定し、各教科で「3つの資質・能力」を意識した授業を実施し、教科横断的な考え方の土台を作っていく。【R7年度さいたま市学習状況調査「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が85%以上】 1人1台タブレット端末を活用し、情報活用や発表の能力が求められる学習活動を多く設定する。【単元ごとに実施】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)